

平成 24 年度牧之原市民意識調査結果について

1 調査の概要

(1) 目的

市民の意向、意識の経年変化の状況及び、市の取り組みに対する市民満足度を把握し、市政に反映させる

(2) 調査の設計

- ・調査対象 牧之原市在住（市内に住民票のある人）の 20 歳以上の男女 1300 人
- ・調査方法 無作為抽出による郵送配布・郵送回収
- ・調査期間 平成 24 年 7 月 19 日～8 月 15 日
- ・設問数 6 問（選択式 5 問、自由記述 1 問、無記名回答）

(3) 回収状況

- ・発送数 1,295 人（転居等による不達分を除く）
- ・有効回収数 530 人（前回 605 人）
- ・有効回収率 40.9%（前回 46.7%）

(4) 調査経過

平成 19 年度から実施し、今回調査で 5 回目

2 調査項目及び結果

新規調査項目はなく、前回の昨年度調査に引き続き、施策に対する満足度・重要度を中心に調査を実施した。

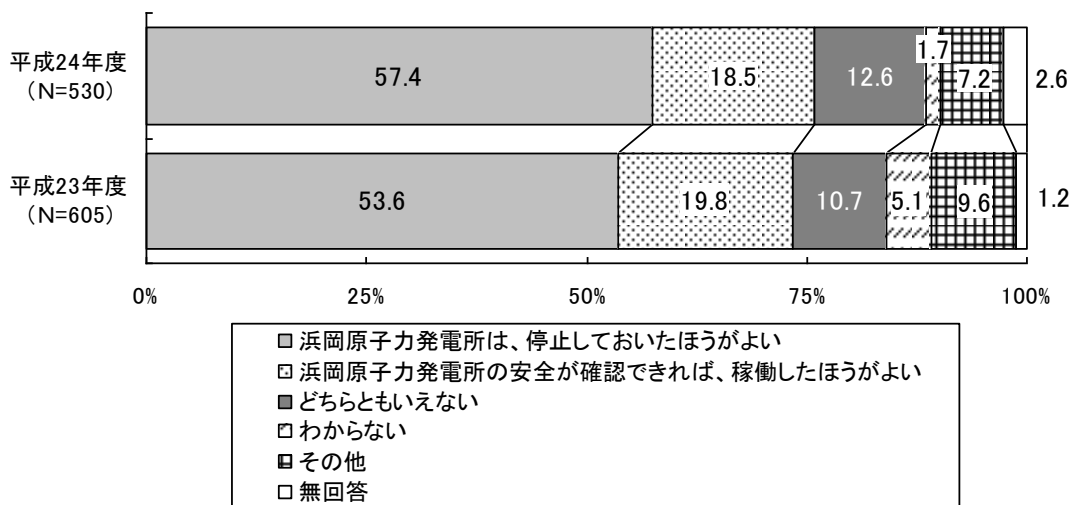
(1) 今お住まいの場所に今後とも住みたいと思いますか（報告書 P5 問 1）

今の住まいの場所での定住意向は、「住みたい」が 60.0%で最も多いが、前回の平成 23 年度結果(64.6%)よりもやや減少している。一方、「市外へ移りたい」は 20.4%で前回結果(15.5%)よりもやや増加している。他の地域へ移りたい理由は「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が 71.7%で最も多い。

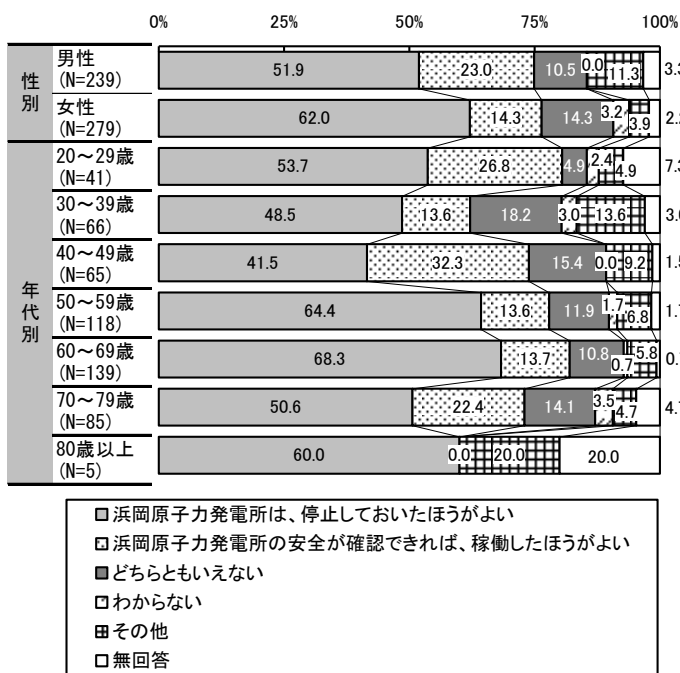
(2) 今現在、幸せだと思いますか（報告書 P8 問 3）

今現在、幸せだと思う（「大いに思う」＋「ある程度思う」）と回答した人は 70.6%で、前回結果(71.2%)と同様に 7 割以上を占めている。一方、幸せだとは思わない（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）と回答した人は 9.8%と前回結果(9.9%)と同じ約 1 割に留まっている。全体的な傾向は前回の昨年度調査とほぼ同じである。

(3) 浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか（報告書 P9 問 4）



浜岡原子力発電所の今後については、「停止しておいたほうがよい」が 57.4% で前回結果の 53.6% から微増し、過半数を占めている。一方、「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」は 18.5% で前回結果の 19.8% から微減しているが約 2 割となっている。その他の 7.2% には廃炉等の意見 3.8% が含まれている。



また、男女別にみると「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」は男性が 23.0% と、女性の 14.3% を 8.7 ポイント上回っており、男女間での差がみられる。

年代別では、前回結果では、30 代から 70 代の「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が 2 割前後だったのに対して 20 代のみ 3 割を超えたが、今回は 30 代、50 代、60 代の「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が 13% 台なのに対して 20 代で 26.8%、40 代で 32.3% となった。

3 調査結果の公表・活用予定等

- 調査結果については、ホームページでの調査報告書の公開、また、「広報まきのはら」での結果内容の紹介を予定している。
- 今後の市政運営や政策展開の検討をする際に、市民意見として参考とする。